

# 埼玉佛教

平成 21 年 1 月 第177号

平成21年1月5日 発行  
 No.177  
 〒330-0063  
 さいたま市浦和区高砂4-13-18  
 財団法人 埼玉県佛教会  
 電話 (048) 861-2138  
 FAX (048) 864-6649  
 発行人 藤田 得三  
<http://saibutu.net>  
 印刷所 関東図書株式会社



第31回 埼玉県佛教徒大会 智山雅楽会「舞楽」

年頭挨拶	2
第24回世界仏教徒会議	
日本大会	3
支部だより	
・東松山滑川仏教会	4
・川越市仏教会	4
・浦和仏教会・埼佛青	5
・飯能地区仏教会	5
第31回埼玉県佛教徒大会	6
トピックス	
・埼玉県戦没者追悼式	8
・埼玉同宗連研修会	8
埼玉会館だより	10
秋の叙勲	10
訃報	10
全仏だより	11
事務局日誌	12
編集後記	12

目次





## 年頭挨拶

財団法人 埼玉県佛教会会長

藤田 得三



◆新春を寿ぎ謹んで年頭の祝辞を申し上げ、併せて皆様の除災招福をお祈り申し上げます。

平成20年12月より新公益法人制度が施行されました。それに先立ち本会では吉田淳一監事のお力添えをいただき、『財団法人埼玉県佛教会寄附行為』の改正を行い、埼玉県知事の認可するところとなりました。その『目的』に『県内寺院教会の連絡を密にし、県下佛教活動の推進、展開に努め、もって道心の高揚と教化の促進を図り、社会の浄

化と文化の向上に寄与することを目的とする』とあります。この目的のもとに各流讀佛歌奉詠大会（埼玉会館）、佛教徒大会（蔵・三学院）の二大行事が成満されました。両大会を支えていただきました各位に改めてお礼申し上げます。この他にも新埼玉会館が有効利用されはじめましたが、尚一層、社会に寄与できる企画等が望まれるところです。今の日本では『心配事』を親身になって相談できる人に巡り会えない人達が各処にできてしまいました。政治の目まぐるしい変り方、すべての行いも考えも『お金』に換算されてしまい、いろいろなものに格差をつけてしまう。格差をつける道具は『お金』が総てであると云うことになってしまい、大切な『こころ』をどこかに忘れていくような気がします。

まさに我々僧侶が衆生を先導し、皆が安らぎを感じられるよ

うな世の中に変えていく努力が必要な時となっています。「心の安らぎを手引きしなさい」と酒井前会長は仰っています。宗派の垣根を越えて共に手を携えてより良い世の中の実現に向けて邁進してまいりましょう。

最後になりますが、県佛教会の偉業である更生保護法人清心寮も吉田理事長、藤本施設長はじめ役員のご尽力で益々発展運営されております。会員各位の更なる物心両面のご支援をお願い申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



## □ 平成20年度 宗教法人研修会の開催について □

- 平成21年 2月5日(木) 春日部会場 埼玉県春日部地方庁舎  
13:30~15:30 定員100人 3階・大会議室  
所在地：埼玉県春日部市大沼1-76
- 平成21年 2月6日(金) さいたま会場 埼玉会館  
13:30~15:30 定員80人 2階・東西会議室  
所在地：埼玉県さいたま市浦和区高砂4-13-18



# 第24回世界仏教徒会議日本大会

第24回世界仏教徒会議日本大会が昨年11月14～17日の日程で、浅草ビューホテル・浅草寺を会場に開催された。



14日の開会式には、本会から三名が参加。この大会に出席するために世界各国から多くの僧侶が訪日。

15日には仏教と社会の関わりについて7つのシンポジウムが

開催された。その中から『自殺という社会問題に仏教者は何ができるか』を聴講。

自殺者が過去10年連続で3万人を越え、60歳以上と30歳代の自殺者が最多との現実を知らされた。



長寿院住職(曹洞宗・千葉県)、篠原鋭一師は自坊を自殺志願者の『駆け込み寺』として開放し、

24時間体制で電話や面談にてとことん話を聞く事を方針に、相談者が生きる方向に向かうのをじっと待つ。

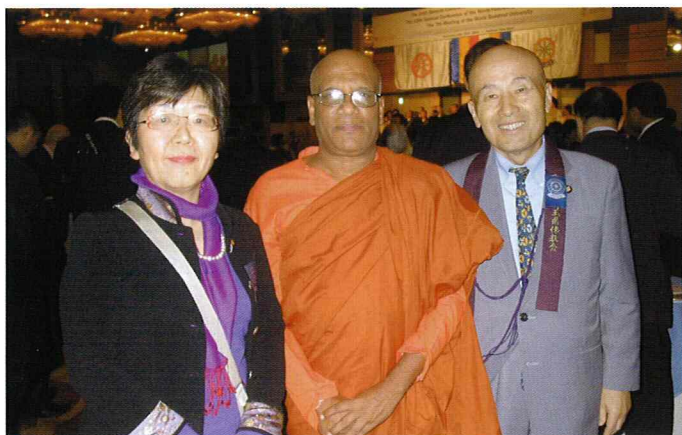


一方、大禅寺住職(臨済宗妙心寺派・岐阜県)、根本紹徹師はインターネットを手段に自殺対策活動を行っている。ネットでの相談は社会から切望されている。その匿名性を利用して自殺志願者からの相談をメール等で応じている。またオフ会と称して直接会う事により、じっくり

り話を聞き『どうしたら生きていけるか』を一緒に探っている。

宗教者、仏教僧侶という配役の下、共生の道を探すための活動が使命であると説く。

相談者が急増している現状を踏まえ仏教者として、かつ『お寺』という得難い環境を活用して協力してほしいと締めくくった。





# 第31回埼玉県佛教徒大会



去る11月20日、埼玉県佛教徒大会が蕨・戸田支部主管により、蕨市内の金亀山三学院・極楽殿を会場に開催された。開催テーマは『共に生きよう』サブテーマは『縁が広がる世界』であった。参加者は約300名。司会は戸田市の妙頭寺副住職・斉藤純孝師が勤めた。

開会前に県警本部生活安全課より工藤由紀江警部補にご来場いただき、被害増加の一途をたどる『振り込め詐欺』の被害者にならないための予防策をお話いただいた。  
開会行事は最初に、三学院の境内にある学舎、和光幼稚園の園児による献灯献花。



続いて記念法楽（導師・藤田得三県佛会長）を行い、参加者と共に三帰依文、般若心経をお唱えした。



式典では、歓迎の挨拶を戸田市の平等寺住職、中村信行実行委員長。主催者挨拶を藤田得三大会会長が行い、全日本仏教会および頼高英雄・蕨市長よりご祝辞を戴いた。

## 午前の部

開会行事に続き、記念講演として、愛知県寂光院の御山主、松平實胤先生をお迎えし、『人生こころ豊かに』をテーマにご講演いただいた。

松平先生のお話は、我々の日常生活に、仏教の教えを織り交ぜたとても親しみやすい内容であった。



大勢の参加者の中で、先生の話にメモをとりながら熱心に耳



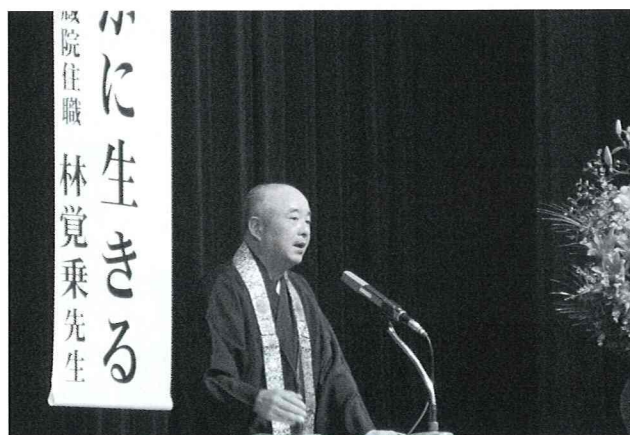
支 部 だ よ り

第十四回 仏教講演会

東松山滑川仏教会

10月28日、東松山滑川仏教会  
(中村瑞峰会長) は「第十四回  
仏教講演会」を東松山市民文  
化センターで開催し、一二〇〇  
名を越える仏教徒が参加した。

今回の開会式では超宗派合同  
での法要式を取り入れた。本年  
の担当宗派である真言宗が導師  
を勤め、天台・真言・浄土・真  
宗大谷派・曹洞・日蓮の各宗代  
表と青年僧が式衆となり来場者  
と一緒に読経し開会法要を行っ  
た。各宗独自の法衣を着た僧侶  
が一同に会することは稀なだけ  
に、緞帳が上り壇上に並ぶ僧侶  
を眼にした来場者は一様に感嘆  
の声を上げた。講師の福岡県南  
蔵院住職 林覚乗師は「心ゆた



かに生きる』と題し70分間にわ  
たり講演した。

林師は、平易な語り口調と笑  
いあり、涙ありの様々な話題を  
通し、「ほんとうの豊かさとは  
私たちが他の人に求めるのでは  
なく、人に与えられる人間にな  
ることが大切である」と説いた。  
来場した仏教徒の一人は「初  
めて参加させて頂いたが、講演

もすばらしく、特に各ご宗門の  
方がそろってご法要をなさる姿  
を見て、仏教の長く尊い歴史を  
見たように感じました。」と驚  
きと感動の言葉を語った。

(報告・東松山滑川仏教会

事務局)

成道会記念川越仏教講座

川越市仏教会

平成20年12月6日、天台宗喜  
多院・齊靈殿に於いて川越市仏  
教会(仁平雄俊会長)主催によ  
る成道会が行なわれました。前  
日降っていた肌寒い雨も止み、  
当日は冬らしい凜とした空気と  
晴れた空の下、約250名の一般来  
場者をお迎えし盛大に開催する  
ことができました。日蔭ではか  
なり寒く感じられる気温でした  
が、開場2時間前から並んでい  
らっしゃる方も見受けられまし  
た。

第1部として、喜多院、塩入

秀知住職の導師のもと、14名の  
会員尊師により成道会法楽が厳  
修されました。勤行聖典を配布  
し、会場の皆様にも聖典をお唱  
えいただきました。「日頃から  
思っていて、なかなかお経を  
唱える機会がない」「お釈迦様  
を近くに感じる良い機会でし  
た」等の声が聞かれました。



第2部としては、約90分にお  
たり成道会記念のオペラが上演  
されました。オペラ「カルメン」  
のハイライトを中心に、ハンガ

リー舞曲の弦楽四重奏版や蘇州夜曲など、馴染みのある曲が目の前で生演奏される迫力に、皆さんうっとり聞き惚れていました。オペラの上演では通常、オーケストラやスタッフを含めると100人以上の人手が必要になるのですが、今回は5人の演奏者でオーケストラ役を務めていただき、指揮・テノール・メゾソプラノを含め、たった8人で素晴らしい舞台を繰り広げて下さいました。

人間が他人に意志を伝達する為に、抑揚をつけて語ったことが音楽の始まりの一つだと言われているそうです。忙しい現代において、質の高い芸術に触れ、音楽を通して耳を傾ける事の安らぎを感じ、少しでも皆様に心ゆたかな生活を送っていただく為の糧となれば幸いです。多くの方々のご尽力とご法助のもと、盛会のうちに円成出来ましたことを御礼申し上げます。

(報告・川越市仏教会事務局)

### 歳末助け合い托鉢募金

浦和仏教会・埼佛青

❖12月6日、浦和仏教会（小島良雄会長）と埼玉県佛教青年会（島本久嗣会長）との合同にて歳末恒例の托鉢が浦和駅周辺で行われた。袈裟姿の僧侶が、ほ



ら貝や鐘の音を響かせながら駅前や商店街を歩き市民に募金協力を呼びかけた。淤見善雄師（県佛青事務局長・浄土宗廓信寺副

住職）は「托鉢は僧侶の行。社会に貢献していきたい」と話した。

五六、一七〇円

の募金が集まり、全額を埼玉新聞・社会福祉事業団に寄付した。

### 歳末助け合い運動托鉢

飯能地区仏教会

❖12月13日、飯能地区仏教会（北村太厚会長）にて歳末恒例の托鉢が行われた。僧侶が鈴の音を



響かせながら商店街を練り歩き市民に募金協力を呼びかけた。

「今年も来てくれたのですね。

寒い中ご苦勞様です。」と心暖

まる優しい言葉をかけていただいた。托鉢は、もはや冬の風物詩である。

一一二、五三六円

の募金が集まった。飯能地区仏教会は例年に倣い10万円を飯能市、5万円を日高市の社会福祉協議会にそれぞれ寄付した。

（不足分は会が負担。）





を傾けていた僧侶の姿が印象的であった。

### 午後の部

❖ 昼食の時間を挟み、午後からは、智山雅楽会による『雅楽』が演奏された。笙、箏、篳篥、笛



の奏でる伝統的な音、琵琶の幽玄な響きをはじめ、多くの楽器を使用する優美な雅楽の音色に参加者全員が心地よく耳を傾けている様子であった。

続いて豪華絢爛な装束に身を包んだ舞手が雅楽の演奏にあわせて舞を披露する『舞楽』。舞手の迫力ある動きに魅了された。最後に参加者全員がひとつになり雅楽の演奏にあわせて、美空ひばりの『川の流れるように』を合唱した。誰もがよく知っている曲を、優雅な雅楽の演奏で歌うことができたことは雅楽への親しみを感じさせる最良の方法であったと感じた。

### 参加者の声

❖ 松平先生のわかりやすい説得力のある話。智山雅楽会の公演ともに良かったです。11月6日に『天台楽府と声明』公演を聞いていたので比較もでき、楽しいひとときを過ごさせていただきました。ありがとうございます。

(庄和支部、

道善寺住職・鹿野隆弘師)

❖ 松平先生のお話を聞かせていただき、たくさんさんの『気付き』を頂きました。今の世の中の現状、私たちの暮らしやそれに対する心構え、自分の命は自分だけのものでなく、たくさんのご先祖様を通じて「大いなる命」とつながっている事など：わかっていたつもりの方が『ああ、そうだったのか』と改めて腑に落ちました。感謝の気持ちを忘れずに今後に活かしていきたいと思えます。

### 福祉義捐募金の報告

❖ 例年に倣い、今年も配布の資料袋の中に福祉義捐募金封筒を同封させていただきました。多くの皆様にご協力いただき、一〇二、二二〇円が集まりました。

募金は本大会主管の蕨・戸田両市の社会福祉協議会に半分ずつ寄附し、社会福祉全般に活用していただきます。

### 記念品



益子焼 水盤

❖ 参加者に贈呈された記念品は、昨春秋、中村実行委員長、金子事務局長と共に栃木県益子町を訪ね、数カ所の窯元を訪ね歩いた結果、木村陶苑さんで作陶された水盤に決まった。誰でも手軽に生け花を愉しむことのできる一品である。

◆ ◆ ◆  
今年の県佛大会は、北部地区が担当になります。今後とも県佛事業へのご協力をお願いいたします。



ト  
ピ  
ッ  
ク  
ス

埼玉県戦没者追悼式

11月6日、埼玉会館にて埼玉県戦没者追悼式が行われ、式典には県佛・藤田会長が埼玉連理事長として出席した。先の大戦以来すでに63年もの歳月が過ぎ去った。戦時中、中国・フィリピン・マリアナ諸島などで命を落とした約四万八千人もの県内出身者の冥福を祈ると共に、世界の恒久平和の実現を祈った。

「埼玉同宗連」研修会  
「人権と津軽民謡」

11月28日、埼玉会館一階の多目的ホールにて『人権と津軽民謡』と題して研修会が開催され、各教宗派から80人が集った。

講演は講師の鍋木宏さんによる講話と美保かおりさんの唄にあわせ湯浅大吾さんの津軽三味線。そして鍋木匡さんの太鼓と

いう形で始まった。

鍋木さんは「青森県津軽地方に伝わる津軽三味線は、替女さん（※三味線を携え農村・山村を巡る盲目の女性旅芸人の意味）達たちが厳しい風雪や社会の差別に耐え、その日の糧を得るために弾き続けてきた、まさに生きるための三味線だった」と話し、津軽三味線の歴史と津軽民謡の由来を説明。津軽三味



線奏者の湯浅大吾さんの力強いバチさばきに載せて、唄い手の美保かおりさんが『津軽じよんがら節』や『よされ節』『おはら節』など、津軽民謡の名曲を披露した。また、三味線職人を志す鍋木匡さんと湯浅大吾さんによる三味線演奏も披露された。そして、「いま困っている人、迷っている人、その予備軍もたくさんいる。そういった境遇の方々は、まさに今宗教者による『生きること』の知恵を必要としている。」と訴えた。

さらに今の世の中、他人のせ

い、置かれた環境のせいにして  
いる人が多い。そんな中、どん  
な環境に置かれても生きる、生  
き抜いていくんだという目の見  
えない替女さん達の強い想いを  
若い人に伝えたい。津軽民謡に  
はそんな一つのメッセージがあ  
ると締めくくった。

◇資料提供

部落解放同盟埼玉県連広報担当、  
小野寺あや様





# 謹賀新年



本年もよろしく

お願い申し上げます

合掌

会長

藤田得三

勝願寺 住職

鴻巣市本町八一―一三二  
電話〇四八―五四一―〇二二七  
FAX〇四八―五四一―〇五四四

## 賀正

(財)埼玉県佛教会顧問

源蔵寺 住職

酒井文雄

財団法人埼玉県佛教会副会長

能仁寺 住職

萩野映明

(財)埼玉県佛教会副会長  
真言宗豊山派持明院 住職

木村盛雄

〒三五九―〇〇三八 所沢市北秋津八五

埼玉県佛教会専務理事  
大應寺

深谷雅良

富士見市水子一、七六五  
〇四九―一五一―五六二一

厄除本庄薬師如来  
開運大黒尊天

住職 加藤玄静

自坊 鉢形山城立寺  
〒367-0052 埼玉県本庄市銀座三丁四―七  
TEL(〇四九五)二四―五五四四  
FAX(〇四九五)二二―七三六六

埼玉県佛教会常務理事  
自坊 観音寺(真言宗豊山派)

杉村良哉

〒340-0816 八潮市中央四―八―一〇  
TEL 〇四八―九九六―四四五〇  
FAX 〇四八―九九六―四四五〇

真言宗智山派  
密蔵院 住職

山口正純

川口市安行原二〇〇八  
〇四八―二九六―七七四

吞龍上人奉祀  
十八檀林霊場会

浄土宗

蓮馨寺

住職 糸原恒久

〒350-0066 川越市連雀町七―一  
TEL 〇四九―二二一―〇〇四三

天台宗東泉寺住職  
(財)埼玉県佛教会理事

河野亮玄

〒330-0044 さいたま市浦和区瀬崎二―一五―三  
電話 〇四八―八八六―一五一四  
FAX 〇四八―八八六―四一五一

開基 慈覚大師  
中興開基 徳川家康公  
曹洞宗 浄山寺(野島地藏尊)

住職 石井知章

〒343-0801 埼玉県越谷市野島三―一  
TEL(〇四八)九七六―五六六六  
FAX(〇四八)九七九―四一三六

〒三三〇―〇〇五二  
さいたま市浦和区本太一―四二―一

天台宗 延命寺

住職 河野亮仙

電話(〇四八)八八二―一六三九〇  
FAX(〇四八)八八五―三六六六

<http://www.enmeiji.com>

真言宗豊山派  
金龍山金剛院住職

梅澤恒夫

〒339-0021 さいたま市岩槻区末田一八九九  
電話 〇四八―七九八―〇〇一三

草加市佛教会

會長 丹羽尊照

事務局長 帛溪文有



# 埼玉佛会館だより

11月以降の宗派関連でご利用  
いただいた団体様は次の通り。

〔日付・宗派・会名〕

・十一月

17日 真言宗豊山派

埼玉三号布教師会様

18日 曹洞宗

埼玉県第一宗務所様

寺族研修会

・十二月

2日 日蓮宗霊断師会様

11月7日、埼玉佛会館にて日本語  
検定試験を実施。次年度も開  
催を予定。



11月27日に開催された第三回  
埼玉佛会館運営委員会の議決に基  
づいて、三階の窓および屋外掲  
示板にテナント募集広告を掲  
示。

## 平成二十年秋の叙勲

おめでとうございます

瑞寶 雙光章

林 文信 師

(越谷市・玉泉院 更生保護功勞)

## 訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。

十月

25日 騎西町金剛院 (智山)

松浪 保雄 師(55歳)

27日 熊谷市能泉寺 (高野)

浦井 光雄 師(80歳)

十一月

5日 川越市栄林寺 (曹洞)

實浄 文彦 師(88歳)

十二月

3日 羽生市富徳寺 (曹洞)

源 悟道 師(78歳)

### お詫び

前176号・6頁上段に誤りがあ  
りました。

×井上 昭信 師

○池上 昭信 師

関係者各位に深くお詫び申し  
上げます。



今年から埼玉県佛教会のホー  
ムページに『埼玉佛会館だより』  
のコーナーを新設します。





## 総務財政審議会が理事長諮問の一部を答申 —9月15日より賛助会員制度がスタート—

2008年3月27日に開催された理事会・評議員会(第27期)に於いて、賛助会員規程が承認され4月1日から施行されました。第28期設置の審議会では賛助会員規程を踏まえて、賛助会員制度の目的を加盟団体にご理解いただくために、また運用に関する手続きの精査等、事務総局から提示された案件に基づいて、審議を重ねてまいりました。

その結果、賛助会員の枠組みは

- ①個人 → 一般社会に対して本会を認知していただくことに主眼を置く。
- ②団体 → 本会の運営や広報を支援していただくことに主眼を置く。
- ③特別会員 → 本会事業の一つである「組織強化」に主眼を置く。

賛助会員の会費(1口1万円)

- ①個人 → 1口以上
- ②団体 → 営利法人は3口以上、非営利法人は1口以上

③特別会員 → 2口以上  
以上のとおりと致します。

この度、開催される第24回世界仏教徒会議日本大会を契機として、伝統仏教教団のもつすばらしさを社会に広報し、さらに宗教(仏教)の公益性を高める為の方策として、賛助会員制度にご理解頂き、会員勧誘にご協力賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

### ※お知らせ

本会ホームページから賛助会員要綱・申込書などを閲覧・プリントアウトできます。ご覧頂きまして、是非ご入会下さい。 <http://www.jbf.ne.jp>

### 全国のご寺院にお願ひ

個人の入会にあつては、入会希望者の菩提寺の推薦を頂くことになりました。加盟団体傘下の各ご寺院の皆様にはご負担をおかけいたしますが、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

## 全日本仏教会「救援基金」について

本会「救援基金」へお寄せ頂きました、ミャンマー・サイクロン被害及び中国・四川大地震への指定寄付を全額、各団体に寄託させて頂きました。

また、8月中旬から続いたモンスーンの影響で、インド・ネパールの国境地帯で河川が氾濫し、インドではこの50年で最大規模の被害が発生、被災者は330万人以上に登っております。このインド洪水に関しましても、仏教NGOネットワークを通じて、現地のNGO団体へ100万円を寄託致しました。

本会では、今後も救援基金の効果的な活用を行ってまいります。皆様方のより一層のご協力をお願い申し上げます。(寄託先についての詳細は、機関誌「全仏」11月号(No.544)及び本会ホームページをご覧ください。 <http://www.jbf.ne.jp>)

「救援基金」収支報告(平成20年4月1日～10月10日)


収入の部	104件	¥22,574,483.-
支出の部		
ミャンマー・サイクロン		¥9,843,969.-
中国・四川大地震		¥6,566,171.-
岩手・宮城内陸地震		¥1,000,000.-
インド・ビハール州洪水		¥1,000,000.-
支出合計		¥18,410,140.-

「救援基金」は下記口座までお寄せ下さいませ。


郵便振替口座

口座番号：00110-9-704834

口座名義：全日本仏教会救援基金



50周年  
緑  
おかげさま。  
地域の縁・アジアの縁



財団法人 全日本仏教会  
WFB(世界仏教徒連盟)日本センター

〒105-0011  
東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2F  
電話 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260  
<http://www.jbf.ne.jp/>  
E-mail [info@jbf.ne.jp](mailto:info@jbf.ne.jp)



## 事務局日誌

十一月

- 4日 埼玉佛教No.176号発送
- インド旅行案内同封
- 6日 埼玉県戦没者追悼式  
藤田理事長参列
- 7日 日本語検定試験 11人
- 8日 埼玉佛青「写佛」
- 11日 第28回部落解放埼玉県研究集会「飯能市市民会館」
- 14日 浦和仏教会「尚和園」慰霊法要
- 14～17日 第24回世界仏教徒会議日本大会（浅草ビューホテル・浅草寺）
- 19日 県佛大会前日準備
- 20日 第31回埼玉県佛教徒大会  
講演「人生こころ豊かに」  
松平實胤師
- 智山雅楽会（蕨・三学院）
- 21日 公益法人セミナー（さいたま市文化センター）
- 21～23日 北海道（ウタリ協会）  
交流・視察）研修  
曹洞宗丹下証道師参加

- 26日 埼玉県共同募金会福祉大会
- 27日 第3回会館運営委員会  
県佛大会慰労会（蕨・東晶大飯店）
- 28日 「埼玉同宗連」役員会、第28回研修会

十二月

- 6日 浦和仏教会・埼玉佛青合同  
托鉢  
成道会記念川越仏教講座  
喜多院齋靈殿
- 11日 埼玉会館一年検査
- 13日 飯能地区仏教会托鉢
- 13日 埼玉佛青「写佛」
- 26日 仕事納め
- 9日 浦和仏教会新年会
- 14日 「埼玉保」幼児画展・準備会  
「埼玉保」新年会（満寿家）
- 15日 理事会、新年懇親会（浦和ロイヤルパインズホテル）

## 今後の日程

平成二十一年

一月

- 9日 浦和仏教会新年会
- 14日 「埼玉保」幼児画展・準備会  
「埼玉保」新年会（満寿家）
- 15日 理事会、新年懇親会（浦和ロイヤルパインズホテル）

### 3階テナント物件募集情報

- 設備…冷暖房、換気、電話線、照明、防災設備、TVアンテナ、給排水設備（設置可能）、防犯警報装置。
- 共有…御手洗い（シャワートイレ）、給湯設備、エレベータ。
- 面積…9.3m（南面）×11.2m（東面）、約31.5坪。
- 最上階。二面採光で陽当良好。

★埼玉開館時はいつでも見学ができます。  
埼玉事務局まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

- 16日 「埼玉保」幼児画展・搬入作業
- 17日～18日 埼玉県佛教幼児画展（さいたま市文化センター）
- 21日 「埼玉同宗連」新年懇親会（天理教埼玉教務支庁）
- 22日 「埼玉同宗連」新年懇親会（二木屋）

## 編集後記

早朝の境内を包む凜とした寒さに心身が引き締まります。埼玉への通勤道中、澄み切った青空の下、まっしろに雪化粧した富士山を目にする機会が多くなりました。寒の入り過ぎ、これからの寒さの本番です。寒さ厳しきお祈りから、お風邪など召しませぬよう。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。（鯉）

